

学校教育目標 豊かな未来を拓く 児童の育成

10月の印象	
1. 富小っ子の「底力」を見た小体連 (1) 激励会での低学年の取組 (2) 本番での高学年の躍動	○ 子供たちのエネルギーはかなり高い。 ○ 「頑張って良かった」という成功体験を積み重ねていきたい。
2. 校外学習・修学旅行での気付き (1) 見学態度 (2) 探究心・課題解決力 (3) 生活力	○ メモをしっかり取れる子供が多い。 ○ 知的好奇心が高い。 ○ 挨拶がきちんとできる。お礼も言える。 ● 基本的な生活習慣の大切さ(早寝・早起き・朝ご飯)
3. 掃除への取り組み方、向上しているが...	○ 取りかかりが早くなった。 ● 自分の担当箇所が終わると、それっきり。 ● 反省会の形骸化。



「現在地」を確認する11月 ☆「荒れる11月」対策 ・日照時間減少によるセロトニン不足 ・行事過多による疲弊

趣 旨	留 意 点
1. 心を落ち着かせ、不安軽減 (1) 「セロトニン」の分泌を促す (2) 自分が「認められている」と意識できる場を数多く設ける (3) 先生方も、一息つこう	(1) セロトニン5 ①みつめる ②ほほえむ ③はなしかける(名前を呼ぶ) ④さわる ⑤ほめる (2) 「深呼吸」の時間を取る
2. 変容(成長・後退・現状維持)を確認し、分析する (1) 研究の中間指導 (2) 日々の子供たちの姿	(1) 今年度の研究の取組成果を検証し、今後につなげる。 (2) 授業・各種行事を通しての子供たちの変容を評価する。 ○ 教師の観察・記録、子供の作文や作品 等から
3. 授業に巻き込む工夫 (1) 「できそう・面白そう」と思わせる	(1) 「易→やや難→難」の発問の組立 (2) 学習内容に興味をもたせる導入の工夫 ○ フラッシュカード等

意識を揃えて取り組もう

学 習	生 活	友 達
○ 学習規律【ノート】 ・ノートを丁寧に書こう	○ 友達を、○○さん、○○君と呼ぼう	○ 友達のいいところを伝えよう

【アメリカインディアンのお話】

- ① 批判を受けて育った子は、非難をし、悪口を言う。
- ② 認められつつ育った子は、自分の未来を大切に生きている。
- ③ 敵意に満ちて育った子は、戦い続けて、誰にでも挑む。
- ④ 褒められながら育った子は、いつでも感謝、感激を知っている。
- ⑤ 馬鹿にされつつ育った子は、やる気もなければ、弱虫のはにかみ屋。
- ⑥ 思いやりを受け育った子は、信仰心と信頼をもっている。
- ⑦ ねたみを受けて育った子は、いつでも自分が悪い、恥ずかしいと思っている。
- ⑧ 心の広く育った子は、忍耐強い信念をもっている。
- ⑨ 悪さ重ねて育った子は、他人を泣かせて、みんなから嫌われる。
- ⑩ 励ましを受けて育った子は、自信をもち、誰からも好かれる。